

「絵解き」って なにあに？

語り継がれる仏教絵画

お釈迦さまの一生の様々な出来事から、世にも恐ろしい地獄の情景、お寺や神社のありがたいご利益、はたまた人生の無常まで。かつて日本人は、仏教にまつわる物語が描かれた絵画に触れ、多くのことを教えられてきました。仏教絵画を読み解き、観る者に語りかける「絵解き」は、中世から近世にかけて次第に盛んになり、絵解きに深くかかわる魅力的な作品が数多く生み出されました。

この展覧会では、日本人と仏教絵画の結びつきを、「絵解き」という角度からとらえていきます。また展示と同時に、全国で受け継がれている「絵解き」実演もご紹介。目と耳の双方から、仏教絵画の奥深さをとくどご覧ください。

日本一の王子様、聖徳太子のグレートな生涯！



重要文化財 聖徳太子絵伝 第1幅 愛知・本證寺



国宝 絵因果経 東京藝術大学大学美術館



重要文化財 金銅 阿彌陀三尊立像(善光寺式) 福島・いわき市

実は生きている阿彌陀さん？ 三國伝来の善光寺三尊像。



おれは地獄の仕事人。お前の罪の重さを計る！

中山寺間廣堂内彫像群より 木造 鬼卒像・業秤 兵庫・中山寺

遊芸人図(部分) 東京・(財)大場代官屋敷保存会

“今ドキ女子”熊野比丘尼を描いた数少ない絵画。

絵と經典のコラボ！ 奈良時代の貴重な仏伝図。

かの有名な安珍・清姫伝説。好きになったら離さない！

- 序章 “絵解き”するひとと 過去の絵解きの現場を確認できる作品群。
- 1章 お釈迦さまの“絵解き” 仏教の開祖、釈迦の生涯を伝える絵解き。
- 2章 お経の“絵解き” 法華経や、華嚴経の教えをあらわした絵解き。
- 3章 “あの世”の“絵解き” 故人の因果・因縁に結び付いてなされる絵解き。
- 4章 ありがたい方々の“絵解き” 各宗派の高僧絵伝と、浄土真宗における四種絵伝の絵解き。
- 5章 お寺と神社の“絵解き” 寺院や霊場など、特定の場と結びついて語られる絵解き。
- 6章 旅する“絵解き” 諸国巡回する絵解き・巡礼と結びつく絵解き。
- 終章 今を生きる“絵解き” 能・狂言との関わりや、現在行われている絵解きの映像・パネル紹介。

10月13日を除く、会期中の土曜日に浄土真宗本願寺派の方々による「親鸞聖人絵伝(四幅御影)」の解説と、現代の絵解き師による“絵解き”実演をおこないます。

「絵伝解説」と「絵解き」実演のコラボ

プログラム①	プログラム②	
10月20日(土)「親鸞聖人絵伝(四幅御影)」の解説	「道成寺縁起」 小野俊成師(和歌山・道成寺)	会場 A
10月27日(土)「親鸞聖人絵伝(四幅御影)」の解説	「苅萱道心石童丸御親子御絵伝」 竹澤環江氏(長野・西光寺)	会場 A
11月 3日(土)「親鸞聖人絵伝(四幅御影)」の解説	「蓮如上人絵伝」 馬川透流師(富山・真教寺)	会場 B
11月10日(土)「親鸞聖人絵伝(四幅御影)」の解説	「聖徳太子絵伝」 竹部俊恵師(富山・妙蓮寺)	会場 B
11月17日(土)「親鸞聖人絵伝(四幅御影)」の解説	「善光寺如来絵伝」 小林玲子氏(長野郷土史研究会)	会場 B
11月24日(土)「親鸞聖人絵伝(四幅御影)」の解説	「熊野親心十界曼荼羅と那智参詣曼荼羅」 山本殖生氏(和歌山・新宮市)	会場 B

会場/A：龍谷大学大宮学舎本館2階講堂 B：本願寺伝道院1階講堂 時間はいずれも13:30～15:00
※会場Aには、エレベーターがありません。足の不自由な方、車椅子の方は、会場Bの実演をお申し込みください。

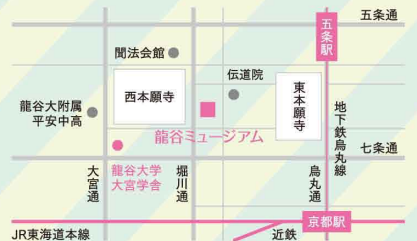
特別講演会

10月21日(日)「仏の口まねー熊野比丘尼と絵解きー」 根井 浄氏(元龍谷大学文学部教授)	会場 C
10月28日(日)「戦国大名毛利氏領国の流通と交流」 岸田裕之氏(龍谷大学文学部教授)	会場 C
11月 4日(日)「地獄絵・六道絵と絵解き」 鷹巣 純氏(愛知教育大学准教授)	会場 D
11月11日(日)「聖徳太子絵伝と絵解き」 阿部泰郎氏(名古屋大学大学院教授)	会場 D
11月18日(日)「熊野親心十界曼荼羅と絵解き」 小栗栖健治氏(兵庫県立歴史博物館長補佐)	会場 C

会場/C：龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール D：龍谷大学大宮学舎東翼205教室 時間はいずれも13:30～15:00

シアター上映

会期中は、3階ミュージアムシアターにおいて、「十王図」、「熊野親心十界曼荼羅」の“絵解き”をフルハイビジョンの4倍を超える高精細画像で上映します。



交通案内 ●JR・近鉄・地下鉄烏丸線「京都」駅から徒歩約12分
●地下鉄烏丸線「五条」駅から徒歩約10分
●京都市バス(9・28・75系統)「西本願寺前」下車約2分
当館には専用の駐車場はございません。
ご来場の際は、バスなどの公共交通機関をご利用ください。

龍谷大学

龍谷ミュージアム
RYUKOKU MUSEUM

〒600-8399 京都市下京区堀川通正面下(西本願寺前)
TEL.075-351-2500 FAX.075-351-2577
http://museum.ryukoku.ac.jp



比丘尼ちゃん
本展のナビゲーター。弟子の「こびくちゃん」と全国を“絵解き”しながら旅しています。